

## 【カット・ドゥ・スクエアの利用について】※電磁化の場合

- 日本医師会のカット・ドゥ・スクエアを使用します
- 情報共有、業務効率化のためカット・ドゥ・スクエアで作成していただきますようお願いいたします。
- IRB 審議資料として統一書式のみこれまで通り紙媒体で 1 部ご提供ください。

① カット・ドゥ・スクエアには利用申請が必要です。

日本医師会 治験促進センター<http://www.imacct.med.or.jp/cds/>にて  
ご確認ください。

② アカウントを受領後、カット・ドゥ・スクエアにログインし、貴組織内の利用者を登録し、各利用者用アカウントを発行してください。

**(アカウントを受領されましたら、臨床研究支援センターまでご連絡ください)**

③ モニター様はアカウントで担当治験の基本情報を登録してください。

---

## ◆アップロードについてのお願い

- 資料はすべてPDFファイルにてアップロード願います。

パスワードは設定しないでください。

- ・「ファイル共有」の「治験内ファイル共有」の中に治験薬名のフォルダを作成願います。同じ治験薬名で複数のプロトコルがある場合は、治験薬名の後に、プロトコル番号等で区別がつくようにフォルダ名を作成してください。

### 【新規申請資料】

「ファイル共有」→「治験内ファイル共有」→「治験薬名」→「急性期・総合医療センター」のフォルダ内に「新規申請資料」フォルダを作成し、治験依頼書（書式3）添付資料欄に記載したすべての資料を格納してください。

資料名は上記書式3に記載された資料名と同一のタイトルを付してください。

### 【毎月のIRB 審議資料】

- ・「ファイル共有」→「治験内ファイル共有」→「治験薬名」→「急性期・総合医療センター」のフォルダ内に下記フォルダを作成してください。

◆「重篤な有害事象報告書」

◆「同意説明文書」

◆「実施状況報告書別紙」

◆「費用に関する資料」

◆「補償に関する資料」

◆「募集の手順に関する資料」

◆「治験薬管理ファイル保管資料」

◆「終了報告書別紙」

◆「その他(治験参加カード、服薬日誌等患者さんに使用するものすべて)」

◆「センター独自保管資料(ポイント表、算出表、執行計画書 等)」

◆「IRB 審議不要の保管資料(手順書、レター等)」

- ・各フォルダに格納して頂く資料には必ず資料名と「キーワード」を記入してください。キーワードについては「※キーワードについて」を参照願います。

### ※キーワードについて

統一書式右上の日付とIRB 審議月「20●●▲▲△△(20●●/▲月 IRB)」を組合せたものをキーワードとします。下記例を参照ください。

(例) 書式右上日付：西暦 2020 年 1 月 1 日→20200101 (2020/2 月 IRB)

## ◆統一書式作成についてのお願い

- 書式右上の整理番号欄に当センターとの契約番号を記入願います。  
新規申請治験については整理番号欄は空欄で結構です。

- 以下にカットドゥスクエアで書式作成後の流れを記載致します。  
ご対応のほどよろしくお願い致します。

### 【書式 10 作成時】

- ① モニター様作成書式を当センター担当者に電子メールで確認依頼  
確認依頼をする際は、カット・ドゥ・スクエア上のステータスを「作成中」の  
状態で確認依頼してください。
- ② 当センター担当者確認後、  
修正「有」の場合⇒別文書として書式保存（更新者：当センター担当者）
- ③ ②で作成された別文書にモニター様が追加修正（更新者：モニター様）  
この時点で①で作成した書式をモニター様で削除
- ④ ③の書式を当センター担当者に再度確認依頼（再確認依頼不要の場合もあり）
- ⑤ ④で修正がなければキーワード入力後、ステータスを「確定保存」  
  
※キーワードは書式と添付資料の両方に入力  
（P.2【毎月のIRB 審議資料】「※キーワードについて」参照）
- ⑥ 上記⑤の書式を IRB 審議資料として提出

## 【書式 16 作成時】

- ① モニター様作成書式を当センター担当者に電子メールで確認依頼<sup>\*</sup>  
確認依頼をする際は、カット・ドゥ・スクエア上のステータスを「作成中」の状態  
で確認依頼してください。  
**※確認依頼は主に新規承認治験において実施して頂くようお願いしております。**
- ② ①の確認依頼時または書式作成済の連絡を頂く際は、ラインリスト（PDF 様式）の  
添付をおねがいします。国内死亡症例の有無をメール本文に記載。  
PDF ファイルを添付して頂く際のパスワードについては「※パスワードについて」を  
参照願います。  
国内死亡症例ありの場合は追加で下記対応をお願いします。

### <国内死亡症例ありの場合>

- ・国内死亡症例分を当該ラインリストより抽出した PDF ファイルを作成し、  
黄色マーカーで塗りつぶす。
- ・個別症例報告書（日本語）の PDF ファイルも提供願います。

### <国内死亡症例なしの場合>

安全性ラインリストをカット・ドゥ・スクエアにアップロードする際は、  
「共有フォルダ」の利用をお願いします。

### ※パスワードについて

メールにパスワードを設定した PDF ファイルを添付する際は、PDF ファイルごとに  
パスワードを設定するのではなく、フォルダを作成し、該当 PDF を格納後、格納した  
フォルダにパスワードを設定してください。（1 度のパスワード入力ですべて PDF が  
全て開封できるように設定をお願いします。）

※書式 16 のキーワードは（P.2【毎月の IRB 審議資料】「※キーワードについて」参照）  
※書式 16 添付資料（安全性ラインリスト等）のキーワードは、「共有フォルダ」を利用  
するため、依頼者様で設定されたキーワードとなります。

- 書式印刷の際は両面印刷で紙面 1 枚に収めて IRB 審議資料として提出してください。